

議案第 4 号

野田市営福田体育館耐震補強及び大規模改修工事請負契約の締結について

野田市営福田体育館耐震補強及び大規模改修工事を施工するため、下記の請負契約を締結することについて、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例（昭和39年野田市条例第7号）第2条の規定により、議会の議決を求める。

記

- | | |
|----------|---------------------------------------|
| 1 契約の目的 | 野田市営福田体育館耐震補強及び大規模改修工事 |
| 2 契約の方法 | 総合評価方式による制限付一般競争入札 |
| 3 契約金額 | 金444,070,000円 |
| 4 契約の相手方 | 野田市清水159番地
丸要建設株式会社
代表取締役 戸辺 太一 |

令和5年8月29日提出

野田市長 鈴木 有

提案理由

野田市営福田体育館耐震補強及び大規模改修工事を施工するため、請負契約を締結しようとするものである。

建設工事請負契約書

- 工事名 野田市営福田体育館耐震補強及び大規模改修工事
- 工事場所 野田市瀬戸970番地の4
- 工期 自 令和 年 月 日
至 令和7年 2月28日
- 工事番号 営繕第10号
- 請負代金額 金444,070,000円
(うち取引に係る消費税及び地方消費税の額40,370,000円)
- 契約保証金
- 解体工事に要する費用等
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（平成12年法律第104号）第13条第1項の規定に基づく解体工事に要する費用等の記載については、別添様式2のとおりとする。

上記の工事について、発注者 野田市 と受注者 丸要建設株式会社 は、各々の対等な立場における合意に基づいて、別添の条項によって公正な請負契約を締結し、信義に従って誠実にこれを履行するものとする。

なお、この契約は「議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例」（昭和39年野田市条例第7号）により議会の議決を得たとき効力を生ずるものとする。ただし、議会の議決を得られないとき、この契約は無効となり発注者は損害賠償の責を負わない。

本契約の証として本書2通を作成し、発注者及び受注者が記名押印の上、各自1通を保有する。

令和 年 月 日

発注者 住所 野田市鶴奉7番地の1
氏名 野田市
野田市長 鈴木 有

受注者 住所 野田市清水159番地
氏名 丸要建設株式会社
代表取締役 戸辺 太一

入 札 結 果 表

開 札 日 時	令和5年8月10日 午前10時00分	
開 札 場 所	野田市役所高層棟5階 O A研修室	
落 札 者	丸要建設株式会社	
落 札 価 格	税込み	444,070,000円 (うち消費税等の額 40,370,000円)
	税抜き	403,700,000円
落 札 率	99.29%	
予 定 価 格	税込み	447,260,000円 (うち消費税等の額 40,660,000円)
	税抜き	406,600,000円
調 査 基 準 価 格	税込み	411,479,200円 (うち消費税等の額 37,407,200円)
	税抜き	374,072,000円

(単位：千円)

業 者 名	第1回	第2回	価格 評価点	技術 評価点	評価値	摘要
創英建興(株)	426,000		— ※予定価格超過	—	—	
丸要建設(株)	403,700		100.00	22	122.00	落札
山本建設工業(株)	421,000		— ※予定価格超過	—	—	

(消費税等の額を除く)

野田市営福田体育館耐震補強 及び大規模改修工事

設計概要書

1. 工事名称 野田市営福田体育館耐震補強及び大規模改修工事
2. 工事場所 千葉県野田市瀬戸970番地の4
3. 地域地区 市街化調整区域
4. 敷地面積 1,930.97㎡
5. 構造及び階数 鉄骨造2階建て
6. 建設年度 昭和55年度
7. 建築面積 1,156.37㎡
8. 延床面積 1,176.11㎡

9. 設計要旨

(1) 基本方針

本建物は構造耐震判定指標の判定値を下回り、耐震性能が不足することから耐震補強工事を実施する。また、建物の老朽化に伴う屋根や外壁などの性能劣化及び利用者の利便性改善への対応として、大規模改修工事を実施し、建物の長寿命化と維持管理費の低減を図り、市民が安全・安心かつ快適に利用できるようにする。

(2) 耐震補強工事

- ・構造耐震判定指標 $I_{so}=0.6$
- ・補強設計目標指標 $RIs=0.6$

耐震診断の結果、耐震性能（最低値 $I_s=0.21$ ）が構造耐震判定指標を下回ったことから耐震補強を行う。

本建物において、桁行方向及び張間方向共に耐力が不足していることから、安全性のほかに機能性、経済性及び施工性を考慮して、鉄骨ブレース工法により^{じんせい}靱性と強度の混在型の補強とする。

補強内容

- ① 鉄骨ブレース補強：16か所（1階：8か所、2階：8か所）

② 方杖補強：14か所^{ほうづえ}

③ 1階コンクリートブロック壁の撤去、軽量鉄骨壁に更新

(3) 大規模改修工事

本建物は、建設から43年が経過しており、屋根や外壁などの仕上げ材の劣化が著しいこと、また、建物内装も傷みが進行していることから、建物の長寿命化を図るとともに、利用者の利便性を改善することとする。

改修内容

- ① 屋根の全面改修
- ② 外壁の全面改修
- ③ 内装の全面改修
- ④ 外部スロープ等の改修
- ⑤ バリアフリー化工事
- ⑥ トイレ洋式化等の全面改修（バリアフリースイレを含む。）

(4) 平面計画

① 効率性及び機能性の向上

- ・改修前の談話室とミーティングルームをエントランスホールとして改修することにより、玄関ホールと一体利用を図り効率性を向上させる。
- ・体育室のバスケットゴールの耐震化及び電動化、体育器具等の更新を行い、施設の機能性を向上させる。

② 快適性の向上

- ・エントランスホール、更衣室及び管理室に空気調和設備を設置し、熱中症対策を講じるとともに、利用者の快適性を向上させる。
- ・LED照明を採用し、維持管理費及び消費電力の低減を図る。

③ バリアフリー化の推進

- ・各所バリアフリーに対応したものとする。（床の段差解消、便所手すり等）
- ・外部スロープの撤去及び新設を行う。

(5) 主要室一覧

改修前	改修後		備考
室名	室名	部屋面積	
玄関ホール	玄関ホール	約 31.3 m ²	
管理室	管理室	約 8.6 m ²	
談話室・ミーティングルーム	エントランスホール	約 42.2 m ²	
男子更衣室	男子更衣室	約 15.6 m ²	
女子更衣室	女子更衣室	約 15.4 m ²	
男子便所	男子便所	約 12.6 m ²	
女子便所	女子便所	約 13.5 m ²	
身障者便所	バリアフリースイレ	約 6.0 m ²	
体育室	体育室	約 832.0 m ²	
倉庫	倉庫	約 41.6 m ²	

10. 建築工事

(1) 外部仕上げ概要

場所	仕様
屋根	丸はぜ折板
外壁・柱型	金属製外装材、金属系サイディング
軒天井	窯業系サイディング
建具	アルミサッシ

(2) 内部仕上げ概要

室名	仕様			
	床	巾木	壁	天井
玄関ホール	磁器質タイル	磁器質タイル	ビニルクロス	岩綿吸音板
管理室	ビニル床シート	ビニル巾木	ビニルクロス	化粧石膏ボード
エントランスホール	ビニル床タイル	ビニル巾木	ビニルクロス	岩綿吸音板
男女更衣室	ビニル床シート	ビニル巾木	ビニルクロス	化粧石膏ボード
男女便所	ビニル床シート	ビニル床シート巻上	化粧ケイ酸カルシウム板	岩綿吸音板
バリアフリースイレ	ビニル床シート	ビニル床シート巻上	化粧ケイ酸カルシウム板	岩綿吸音板
体育室	複合フローリング	木巾木	化粧合板	天井あらわし
倉庫	ビニル床シート	ビニル巾木	ビニルクロス	天井あらわし

11. 電気設備工事

(1) 電灯動力設備

消費電力の低減を図るため、照明器具のLED化を行う。老朽化した動力盤の改修を行う。

(2) 受変電設備

老朽化した受変電設備（キュービクル）、構内幹線ケーブルの改修を行う。

(3) 弱電設備

放送設備、テレビ受信設備、電気時計、電話設備、トイレ呼出し装置等の弱電設備の更新を行う。

(4) 火災報知設備

老朽化した自動火災報知設備の更新を行う。

12. 機械設備工事

(1) 空気調和設備

エントランスホール、更衣室、事務室に空気調和設備を設置する。

(2) 換気設備

老朽化した換気設備の更新を行うとともに、部屋の用途及び間取り変更に伴い換気扇を新設する。

(3) 衛生器具設備

トイレの和式便器を洋式便器に改修する。また、バリアフリーストイレにおいては、温水洗浄便座、オストメイト設備及び大型ベッドを新設する。

(4) 給水・排水設備

老朽化した給水管及び排水管の改修を行う。

(5) 浄化槽設備

老朽化した単独浄化槽を撤去し、合併浄化槽を新設する。

13. 工事内訳書

(1) 建築工事

	工事名称	数量	単位	摘要
1	直接仮設工事	1	式	
2	屋根改修工事	1	式	
3	外壁改修工事	1	式	
4	建具改修工事	1	式	
5	内装改修工事	1	式	
6	塗装改修工事	1	式	
7	耐震改修工事	1	式	
8	外構工事	1	式	

(2) 電気設備工事

	工事名称	数量	単位	摘要
1	電灯設備工事	1	式	
2	動力設備工事	1	式	
3	受変電設備工事	1	式	
4	放送設備工事	1	式	
5	テレビ受信設備工事	1	式	
6	電気時計設備工事	1	式	
7	電話設備工事	1	式	
8	トイレ呼出設備工事	1	式	
9	火災報知設備工事	1	式	

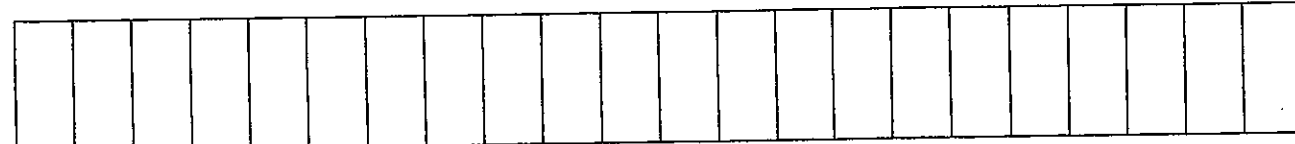
(3) 機械設備工事

	工事名称	数量	単位	摘要
1	空気調和設備工事	1	式	
2	換気設備工事	1	式	
3	衛生器具設備工事	1	式	
4	給水設備工事	1	式	
5	排水設備工事	1	式	
6	浄化槽設備工事	1	式	

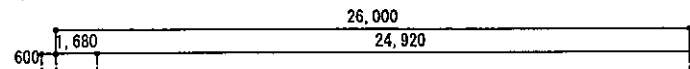
改修後

単位 : mm

駐車場



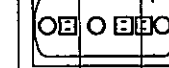
誘導ブロック【新設】



バリアフリー対応駐車場の整備

合併浄化槽の新設

スロープの新設



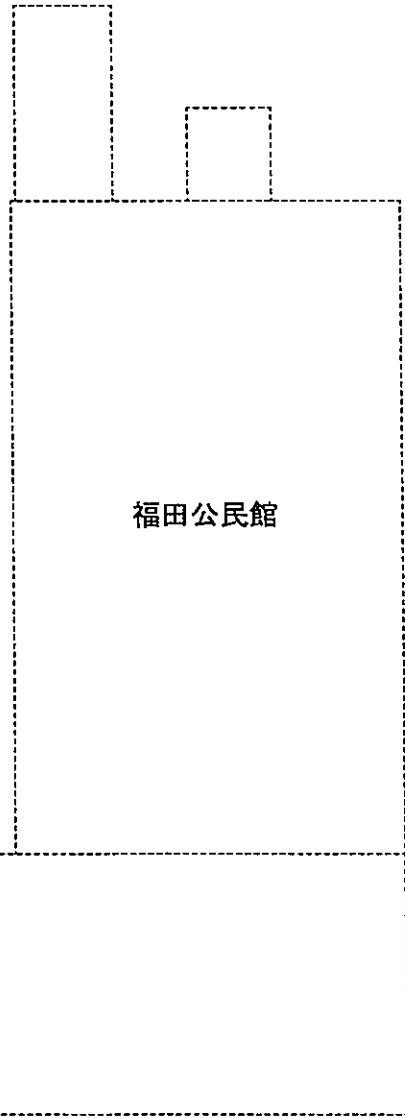
GL±0

GL±0

北

野球場

市道1230 (幅員7m)



駐輪場

GL±0

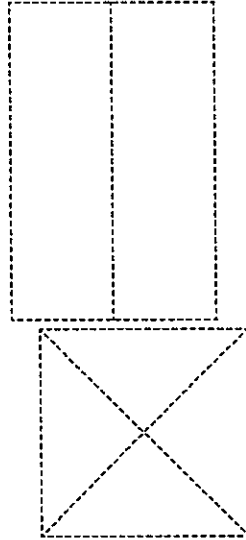
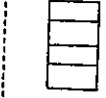
体育館
屋根ふき替え

6,500

41,500

GL±0

受変電設備の改修



単独浄化槽の撤去

3,000

GL±0

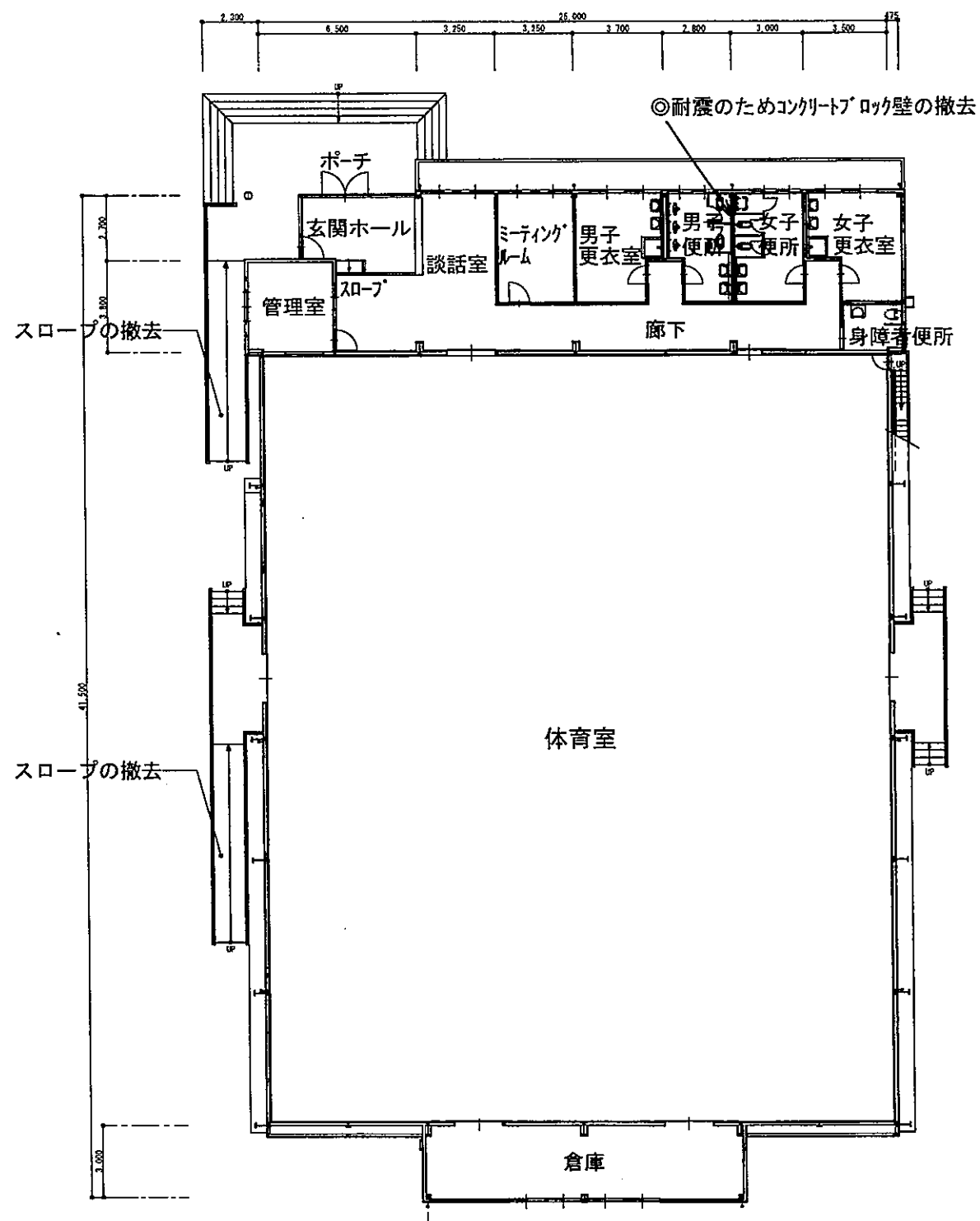
GL±0

市道61200 (幅員4m)

4,000

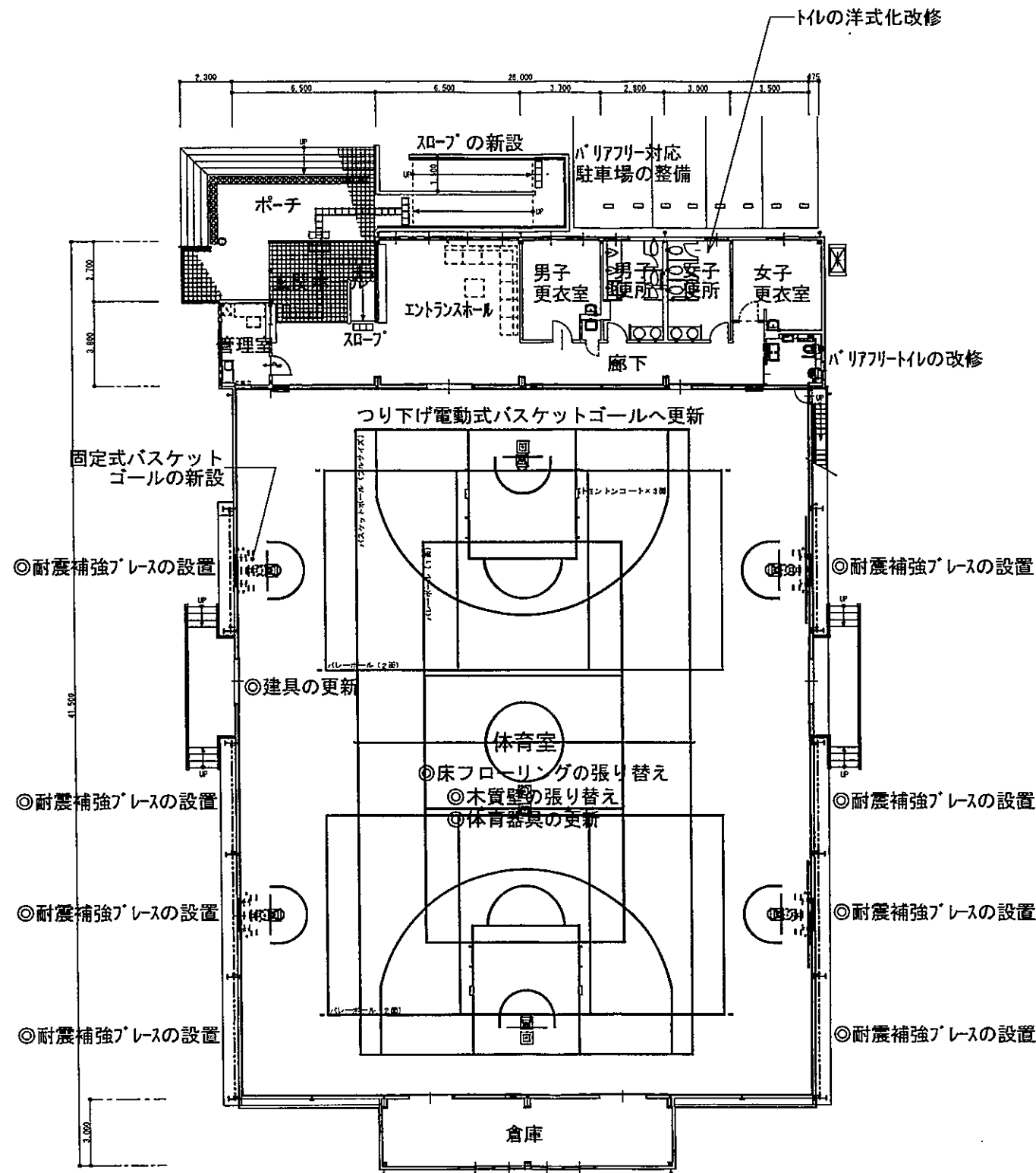
改修前

単位：mm

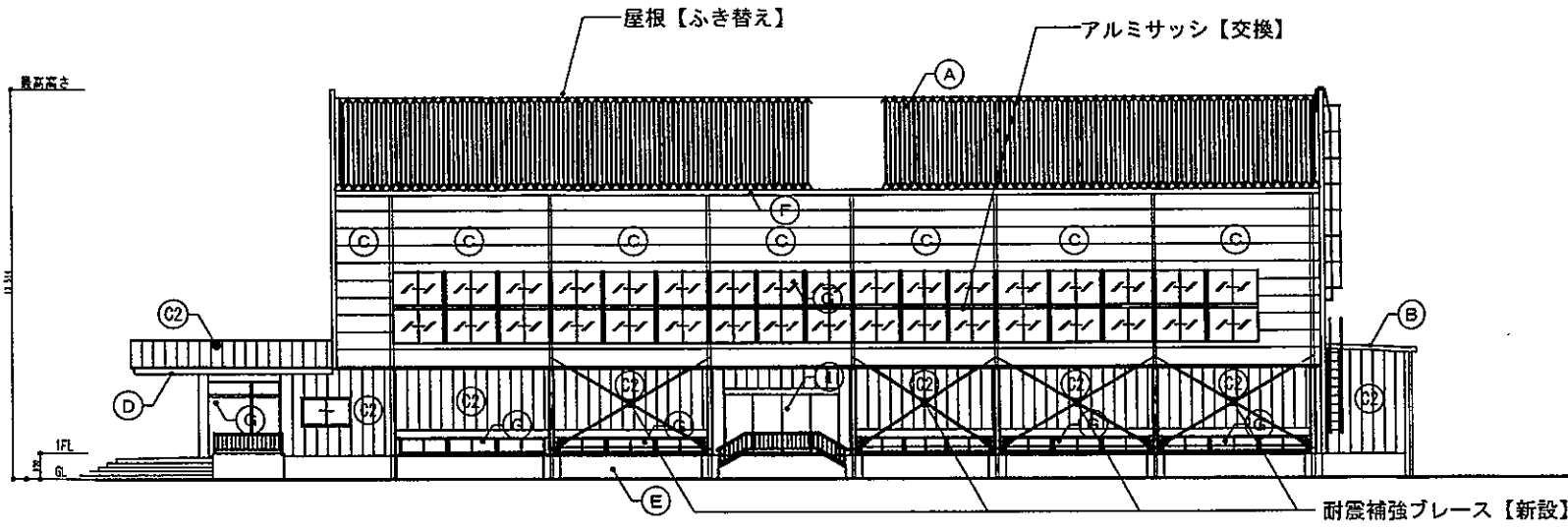


改修後

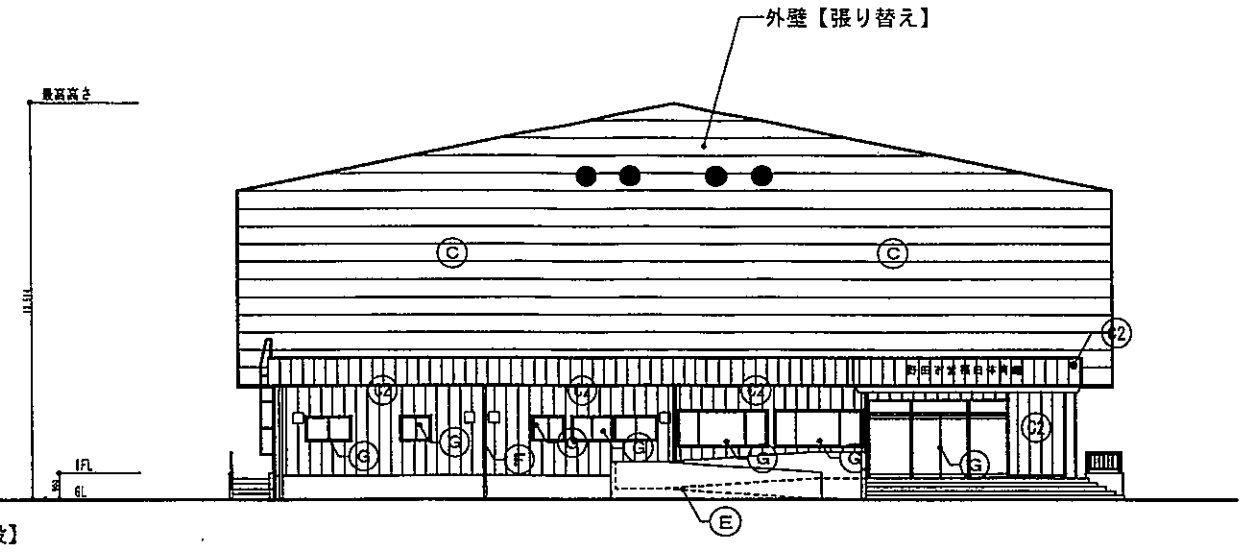
単位：mm



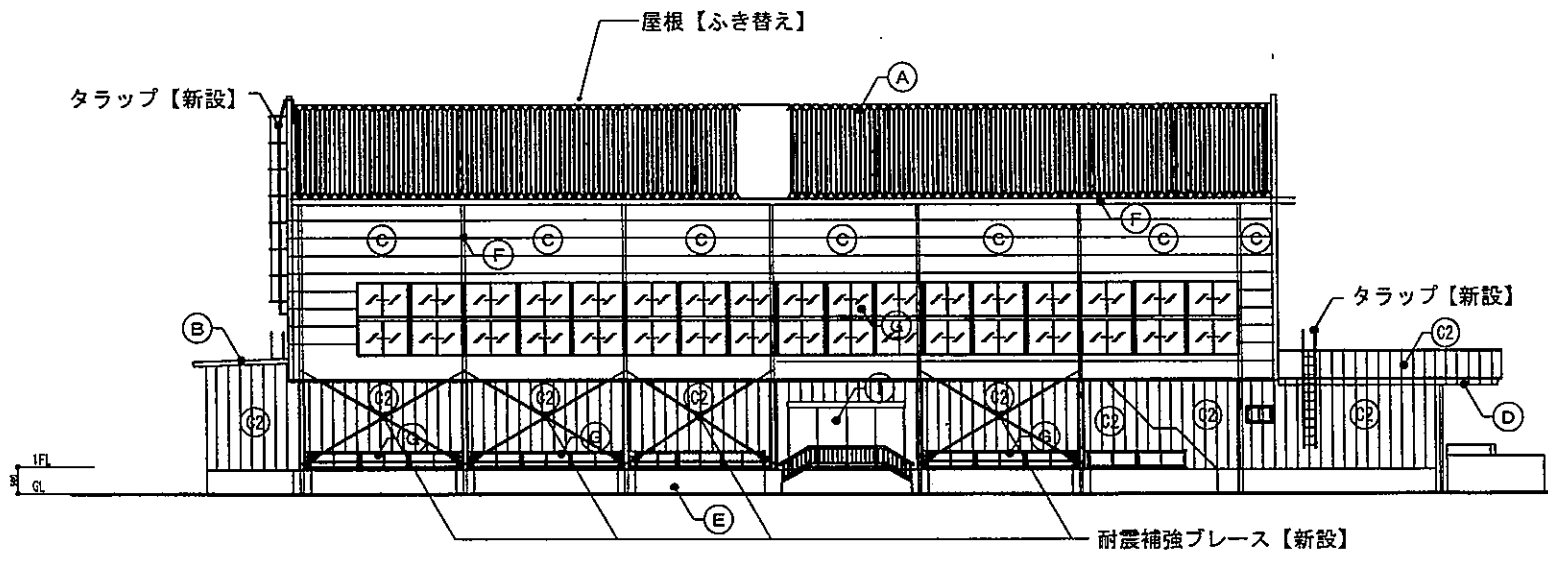
- ◎LED照明器具へ更新
- ◎火災報知設備の更新
- ◎耐震補強工事（ブレース新設・方杖補強新設）
- ◎鋼製建具・木製建具の更新
- ◎エントランスホール・更衣室・管理室にエアコンを整備



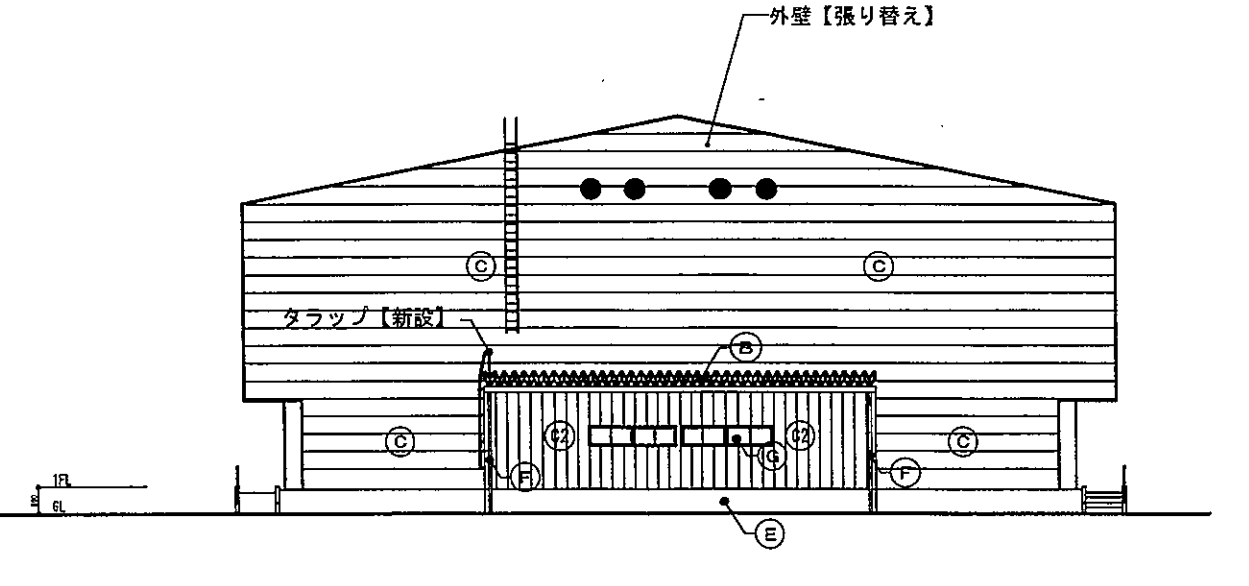
東側立面図



南側立面図



西側立面図



北側立面図

仕上凡例

記号	名称	仕上	改修内容	記号	名称	仕上	改修内容
Ⓐ	大屋根	丸はせ折板Ⅱ型 山高160	【ふき替え】	Ⓔ	巾木	高浸透形防水防止コケリ付打ち放し	【新設】
	下屋	笠木：ｶﾞｰｸﾞ 4x4 914鋼板 t=0.8			Ⓕ	雨樋	軒樋：塩ビ製 W=200 壁樋：カラーVPφ100
Ⓑ	下屋	丸はせ折板Ⅱ型 山高160	【ふき替え】	Ⓖ	建具	アルミサッシ	【交換】
		笠木：ｶﾞｰｸﾞ 4x4 914鋼板 t=0.6			Ⓖ	建具	スチール製
Ⓒ	外壁	断熱ﾌﾞﾗｯｸﾞ NZ35 巾600 横貼り	【張り替え】				
		一部ﾌﾞﾗｯｸﾞ 4x4 914鋼板加工					
Ⓒ2	外壁	金属系ﾌﾞﾗｯｸﾞ t=15.0 縦貼り	【張り替え】				
		ﾌﾞﾘｽﾄﾙ樹脂塗装ｶﾞｰｸﾞ 4x4 914鋼板 t=0.35					
Ⓓ	軒裏	麻葉系ﾌﾞﾗｯｸﾞ t=14.0	【張り替え】				